**山梨県立病院 睡眠導入剤大量紛失で盗難届**

7月5日 22時46分

甲府市にある山梨県立中央病院が、睡眠導入剤およそ3万7000錠を紛失していたことが分かり、病院は、警察に盗難の被害届を出しました。

山梨県立中央病院によりますと、紛失したのは、不眠症の患者に処方する「ゾルピデム」という睡眠導入剤です。

病院では、今月2日、2日前に補充したばかりのおよそ500錠のゾルピデムが調剤室から無くなっていることに薬剤師が気付きました。

病院が、過去にさかのぼって調べたところ、去年8月から購入した量と処方された量とが一致しなくなり、およそ3万7000錠が紛失していたことがわかり、病院は、5日警察に盗難の被害届を出すとともに保健所に報告したということです。

病院によりますと「ゾルピデム」は、比較的副作用の少ない薬として不眠症の患者に広く処方されていますが、大量に服用すると意識障害などを引き起こすことがあるということです。

病院では、購入した薬を倉庫で保管し調剤室で薬が足りなくなると薬剤師が、そのつど倉庫から補充していましたが、在庫と処方した量を確認はしていなかったということです。

神宮寺禎巳院長は「安心安全な医療を提供するべき病院でこのような事件があり、誠に申し訳なく思っている」と述べました。病院では、今後在庫確認を徹底するとともに、出入り口2か所に防犯カメラを設置したということです。